

建政部セミナー

建政部 計画管理課 戸塚 茂貴

1. はじめに

関東地方整備局建政部は、都市・住宅行政、建設業、不動産業、公園行政、に関わる業務を実施しております。

都市・住宅行政においては、活力ある安全で快適なまちづくり・すまいづくりを支援しており、街路や下水道の整備、区画整理や市街地再開発、住宅・住環境の整備などの各種事業について法令に基づいて自治体等へ必要な支援を行っています。

支援制度の例としては市街地再開発事業や土地区画整理事業、公営住宅整備事業や街なみ環境整備事業、街路事業などがあり、自治体においては、これらの支援制度を活用し、地元・関係者等との調整を行いながら事業を実施しています(国費による補助事業)。

2. 課題

これまでは、自治体と自治体のつながりや自治体と建政部のつながりが希薄となっていた部分もあったことから、建政部として、単なる制度や法律の説明等だけではなく、いかに自治体にとって、まちづくり・すまいづくりが良いものになるかという観点で、積極的な活用の方法を検討をしてきました。

3. 具体的な取り組み

そのために「建政部セミナー」として、特に実際の現場の第一線で活躍されている方を外部講師としてお招きして、まちづくり・すまいづくりの行政に携わっている自治体等の方々及び地方整備局職員を対象に、所管業務に関連する多様で幅広いテーマについて講演を頂くことによって、先進的な取り組みを知り、新たな着想や発想の契機となることなどを期待して、平成29年2月からこの取り組みを始めています。

参加者の募集にあたっては、メーリングリストを活用して継続的・横断的に情報交換の出来るような環境も整備し、またテーマに応じては地域金融機関等にも参加を呼びかけるなど、行政との連携強化を図りました。

4. セミナーの実績

第1回 平成29年2月27日

「僕らのリノベーションまちづくり～公務員は逃げられない～」

講師 株式会社らいおん建築事務所代表取締役 嶋田 洋平氏

第2回 平成29年5月18日

「公民連携まちづくりにおける行政の役割～リノベまちづくりの先にあるもの～」

講師 株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役 清水 義次氏

第3回 平成29年5月22日

「公共空間における公民連携の可能性をさぐる」

講師 株式会社OpenA 代表取締役 馬場 正尊氏

第4回 平成29年8月8日

「まちづくり・地域づくりの官民連携施策」 (地域金融機関も参加)

講師 ノオト代表理事 金野 幸雄氏 ほか

第5回 平成29年11月28日

「中心街の活性化を導くモビリティ」

講師 ビジネスコンサルタント ヴァンソン藤井 由美氏

第6回 平成30年2月22日

「ファイナンスによる公民連携まちづくり」 (地域金融機関も参加)

講師 オガールベース株式会社代表取締役 岡崎 正信氏

第7回 平成30年3月7日

「消費者の時代から当事者の時代へ」

講師 株式会社ブルースタジオ専務取締役 大島 芳彦氏

第8回 平成30年5月28日

「植物が育つように、まちをつくる～ 西国分寺、クルミドコーヒーの場合～」

胡桃堂喫茶店 店主 影山 知明氏

5. 第8回セミナー概要

第8回では「植物が育つように、まちをつくる」と題して胡桃堂喫茶店 影山氏に講演をしていただきました。影山氏は大手経営コンサルティングを経て、ベンチャーキャピタルを共同創業したのち、西国分寺に「クルミドコーヒー」をオープンされました。

今回のセミナーの内容として

- カフェの活用 (人の潜在的に持っている意見を引き出す場)
- 工学的なアプローチ→生命論的アプローチ (個人の可能性を引き出し事業を進める)
- 地域通貨「ぶんじ」の活用 (お金とは人の仕事を受け取るための道具)
(その仕事への感謝の気持ち⇔仕事の質が高まる)
- コミュニティをつくるコツ (人と人との関係は「利用しあう関係」ではなく「支援しあう関係」)
- 植物が育つように、まちをつくる (支援しあう関係がまちづくりにつながる)
という講義内容でした。

今回のセミナーには およそ130名 (自治体90名 整備局40名) に参加いただきました。自治体からの参加者のうち、約半数の方が都市計画・まちづくりを担当されておりました。他にも住宅、道路、公園、総務・経理、防災など幅広い方々に参加いただき、

約7割の方が今回建政部セミナー初参加の方でした。また、1割の方が今回の参加が5回目以上ということで、新規参加の方、リピーターの方を増やしていけるように考えております。

6. 今回の建政部セミナーに参加していただいた方からの意見・感想、要望

意見・感想

- ・講演者の視点、発想の仕方に驚きました。逆転の発想は参考になります。
- ・”まち”をつくるにあたって、植物が育つように人を育てるという考え、支援しあう関係等、参考になりました。何かやりたいことがあっても、潜在的で言葉にできていない、手を挙げられない人はいるという考えからそのような方々の発掘もできればいいと思います。
- ・支援しあう関係のまちづくり。希薄な現在の日本で、まさに今大事なことだと思います。
- ・自分が最近仕事でモヤモヤって感じていたものをはっきり言ってくれてまさにこれだ！と思いました。進むべき方向を教えてもらえてありがとうございました。
- ・このカフェの出現によりまちにどのような影響が見られたのか、ということも時間があれば聞きたいと思いました。
- ・気持ちが明るくなるすばらしい講演でした。自分も何かしてみたいと思いました。
- ・考えたことのない視点のお話で大変おもしろかった

今後の建政部セミナーのテーマに関する要望

- ・景観歴史的建造物を活かしたまちづくり、都市デザイン、アーバンデザインセンターについて
- ・エリマネ（エリアマネージメント）の事例発展的なセミナー
- ・農業をテーマにしたまちづくり
- ・中古マンションの未来（住宅）まちの未来（30年後）
- ・役所とは縁遠そうな、まちづくり系で活躍されている人の話を聴きたい
- ・リノベーションまちづくりについて（行政と民間の関わり方など）
- ・まちづくりを実践している民間の方の話を聴きたい



7. まとめ

『建政部セミナー』には、これまでまちづくりやすまいづくりを担当する自治体の職員を含め延べ約 1,500 名の参加を頂いており、講師の方による事例の紹介やノウハウを知ることで、行政側としても新たな着想やより良い計画等への契機となっていることがアンケートの結果からもうかがえました。また、セミナーを実施することで、講演のなかで取り上げられた施策を実施している自治体への視察もメーリングリストを活用して実施することにつながりました。

テーマに応じては、金融機関等の民間事業者も参加いただくなど、建政部関連施策への認知度を高め、公民連携の強化を図ることが出来ました。

さらに、セミナー後には意見交換会を実施し、継続的・横断的な情報の交換を図れるようにしています。

今後もこのセミナーが、まちづくり・すまいづくりに携わる方々にとって広く魅力的で効果的な内容とするために、今後もテーマや講師の選定を工夫していきます。

次回 8 月の開催では、意見・要望で「まちづくりに関するセミナーを上司の人にも聴かせたい。」というご要望もありましたので、各自治体の幹部の方々向けのセミナーとして開催する予定としております。